

## 過去のフォーラムにご参加いただいたみなさまからのご感想

- EQの内容をわかりやすく講演の中で説明していただき、理解が深まりました。信州大学の事例で継続的な使用が有効である事も良くわかりました。(総合大学・教員)
- タフな人間になってもらいたいと常日頃思っている。自己理解から変化のきっかけを考えるツールに最適だと思った。(医療系大学職員)
- IQよりEQ(本学の学生は決してIQが高いほうではない。しかし、自信をもって社会に送り出したい)(文系大学・職員)
- EQの基本的考え方がわかった。SEQがポートフォリオの振り返りのひとつのツール(エビデンス)にも使えそう。(文系大学・教員)
- EQの導入が、離職率の低下に貢献して



- いる事例など、貴重なご報告ありがとうございました。(総合大学・教員)
- 信州大学様の事例報告は、キャリア支援を行う立場でとても同調するし、参考になりました。(総合大学・職員)
- EQは鍛えることができ、それが学生の総合的な能力向上につながる。(医療系大学・職員)
- 思っていたよりEQが企業の人材開発等に取り入れられていること。(文系大学・教員)
- 当たり前のことが当たり前出来る。次の人のことを考える。挨拶とお礼が出来る。大切なことだと思った。(理工系大学・教員)
- 学生数が多い中でグループワークやPBLを実施するネズミ講式の考え方に感銘を受けました。(総合大学・職員)
- 3例の事例報告を通してSEQに興味を持ちました。大学に戻り、検討したいと考えます。(医療系大学・職員)
- 高山さんのお話はおもしろく、楽しく聴かせていただきました。(理工系大学・職員)
- 名工大の話がとてもよかった。特に、今更



- ですが「意識させること」なるほどと思った。(医療系大学・職員)
- 新卒採用における採用基準でもある「一緒に働きたいか」≠「可愛がられる」と感じました。(理工系大学・職員)
- EQについては断片的に聞きかじったことはあったが、まとまった説明を聞くのは初めてだった。感情ということでもう少し難しい物だと思っていたが、人間の根本に関わるシンプルなものだということがわかった気がする。(女子大・教員)
- 実ははじめ懐疑的だったのですが、学生に有効ではないか、また専門科目との組み合わせで活用できそうだと感じました。(総合大学・教員)

## ACCESS

場所 東京海洋大学・品川キャンパス  
楽水会館 大会議室

所在地 〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

交通アクセス

- JR線・京浜急行線「品川」駅  
港南口(東口)から徒歩約10分
- 東京モノレール「天王洲アイル」駅から  
「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分
- りんかい線天王洲アイル駅から  
「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分



企画詳細・お申込は <http://seq.univcoop.or.jp>

8月9日締切

EQ スチューデントEQ  
大学生協学生EQセンター

〒532-0011 大阪市淀川区西中島3丁目23番15号  
セントアーバンビル 501号  
E-mail: seq@univcoop.or.jp

## 第1回「EQ教職員交流会」プログラム

【日時】 2017年8月22日(火) 9:00~12:00  
【場所】 東京海洋大学・品川キャンパス 楽水会館

参加費  
無料

既にEQを活用されている方々向けの交流会です。実施上の課題や問題意識を中心に交流します。



# 第6回 大学における EQ活用 研究フォーラム

EQ~こころの知能指数~は、大学生の学びと成長をどう支援できるのか?

自律的に動ける  
学生を育てたい

コミュニケーション力やメンタルタフネスを  
日常の大学生活の中で鍛えたい

初年次教育や、継続したキャリア教育の  
成果をはかる指標として使えるものはないか

なぜEQをはかることで学生の  
モチベーションは上がり、行動をおこすのか?

このフォーラムでは最新のEQの活用状況についてお知らせし、EQを活用することで、一人ひとりの学生がいきいきとした学生生活をすごしながら社会人にとって必要な力を育むために、何が出来るかを考えたいと考えています。キャリア教育や初年次教育をはじめ、教育実践を通じた学生の育成に関わる幅広い関係諸賢の皆様方のご参加をお待ちしています。

日時 2017年8月21日(月) 14:00~18:00

場所 東京海洋大学・品川キャンパス 楽水会館 大会議室

参加対象 大学・短期大学・高等専門学校の教員・職員・関係者の方  
キャリア教育・初年次教育・PBL・インターンシップ・実習など、  
大学生の学びと成長の支援に関わるみなさま・大学生協の役職員

参加費 無料(懇親会は有料です)

EQ スチューデントEQ  
大学生協学生EQセンター

主催：全国大学生協同組合連合会  
学びと成長事業協議会



# 第6回「大学におけるEQ活用研究フォーラム」プログラム

【日時】 2017年8月21日(月) 14:00~18:00  
 【場所】 東京海洋大学・品川キャンパス 楽水会館

参加費  
無料

14:00~14:10

開会・ご挨拶

14:10~14:40

## 講演 「EQが必要とされる時代」



株式会社EQ 取締役会長・EQエグゼクティブマスター 高山 直氏

1990年、米国で提唱されたEQ理論を日本で初めて紹介し広める。個人のやる気や情熱、「志」などの潜在的な能力や可能性が、学歴に関係なく、公平、公正に判断される社会の創造を目指して、1997年、株式会社イー・キュー・ジャパンを設立。日本初のEQ事業をスタートさせる。EQ理論提唱者のイエール大学学長ピーター・サロベイ博士、ニューハンプシャー大学ジョン・メイヤー博士との共同研究で、EQ理論に基づいた「個人の自立と成長を支援する」プログラムを開発、現在に至る。

14:40~15:30

## 講演 「マインドフルネスとEQ」



筑波大学 人間系 教授 相川 充氏

広島大学大学院博士課程後期修了。博士(心理学)。宮崎大学助手、講師、助教授を経て、1993年より2013年まで東京学芸大学助教授、教授。2013年より現職。NPO法人CRET(教育テスト研究センター)理事。日本心理学会理事、日本社会心理学会会員、日本教育心理学会会員、日本グループ・ダイナミクス学会会員。最近の主な著書『上司と部下のためのソーシャルスキル』(サイエンス社)、『イラスト子どものソーシャルスキル:友だち関係に勇気と自信がつく42のメソッド』(合同出版)、『コミュニケーションと対人関係』(誠信書房)など。

15:45~17:15

事例報告1: 大学における正課活用のねらいと効果に関する報告  
 静岡大学 准教授 生源寺 類氏

事例報告2: 2年生の必須授業におけるSEQの活用について  
 徳島大学 特任講師 畠 一樹氏

事例報告3: 海外インターンシップの前後における活用事例の報告  
 (大学生協)

17:35~18:00

つながる・ふりかえり・ワークショップ  
 情報交換やネットワーク作りの場としてもご利用下さい。

18:30~20:30

夕食懇親会 (有料です)

◆プログラムはやむをえず変更になる場合があります。

評価用の受診IDを  
ご提供します

導入にあたっての評価用として、スチューデントEQの受診IDを無償で3名様分ご提供いたします。通常の受診と同様のマテリアル一式をお送りしますので導入に先立って身近な学生の方に試験的に受診いただくなどご利用下さい。

# 過去の「大学におけるEQ活用研究フォーラム」から

## 第1回

2012年8月9日  
 龍谷大学 大宮キャンパス 清和館

【講演】なぜEQを鍛えた学生は社会で活躍できるのか  
 EQ Global Alliance 代表 高山 直氏

【事例報告①】若手社会人の現状とEQ  
 株式会社日立システムズ 人財教育本部 三森 朋宏氏

【事例報告②】初年次教育におけるEQの活用  
 信州大学 学生支援課 課長 金子 功氏



## 第3回

2014年8月4日 関西学院大学  
 西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館

【講演】EQで育てる「人に強い」大学生  
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター 高山 直氏

【事例報告①】松山東雲女子大学正課授業におけるEQの活用  
 松山東雲女子大学 人文科学部 心理子ども学科 教授 キャリア支援部 西村 浩子氏

【事例報告②】初年次教育におけるEQの活用  
 九州工業大学 工学研究院 基礎科学研究系 教授 中尾 基氏



## 第2回

2013年8月5日  
 東京大学 駒場キャンパス 1号館

【講演】可愛がられる「EQ・新社会人」  
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター 高山 直氏

【事例報告①】グローバル企業におけるEQの活用  
 EQ Global Alliance

【事例報告②】教育大学の集中講義におけるEQの活用  
 北海道教育大学 教授 玉井 康之氏

【事例報告③】工業大学のキャリア形成におけるEQの活用  
 名古屋工業大学 教授・キャリアサポートオフィス長 山下 啓司氏



## 第4回

2015年8月3日  
 早稲田大学 国際会議場

【講演】EQで育てる「人に強い」大学生  
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター 高山 直氏

【パネルディスカッション】「EQで広げる大学生の学びと成長の可能性」  
 北海道教育大学 教授 副学長 玉井 康之氏  
 九州工業大学 工学研究院 教授 学長特別補佐・PBL教育推進室長 中尾 基氏  
 信州大学 キャリアサポートセンター・学生支援課 課長 金子 功氏  
 EQ Global Alliance エグゼクティブマスター 高山 直氏



## 来日記念特別フォーラム

(経済産業省・文部科学省後援)  
 2016年5月13日 京都大学  
 吉田キャンパス 百周年時計台記念会館

【講演】「EQ理論の25年と新たな展開」  
 University of New Hampshire 教授 Dr. John D. Mayer

【講演】「グローバル企業におけるEQの活用」  
 Yale university 学長特別補佐 Dr. David Caruso

【講演】「EQ 感じる力の磨き方」  
 株式会社EQ 取締役会長 高山 直氏



EQ理論の提唱者John. D. Mayer博士(ニューハンプシャー大学教授)、世界と日本のビジネス界におけるEQ普及の第一人者である、David Caruso博士(イエール大学学長特別補佐)、及び高山直氏((株)EQ)をお招きし、経済産業省・文部科学省の後援を頂いて開催しました。

大学での教育や学生支援、企業や諸団体での活用等でのいっそうの普及・浸透をはかるために、EQ理論提唱以来の25年間の理論の深まりと、その広がりを多くの方に紹介し、44大学・213名の参加となりました。

実践場面での悩みを考えたり、講師同士の討論が起きるなどディスカッションも興味深いものであり、全体として参加者からは高い満足度を得られたものとなりました。

